

各 位

平成 20 年 4 月 10 日

本店所在地 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
会 社 名 SBIホールディングス株式会社
(コード番号 8473 東証第一部、大証第一部)
代 表 者 代表取締役 CEO 北 尾 吉 孝
問い合わせ先 責任者 役職名 取締役専務 CFO
平 井 研 司
電 話 番 号 0 3 - 6 2 2 9 - 0 1 0 0 (代 表)

孫会社の異動に関するお知らせ

当社の連結子会社である SBI イー・トレード証券株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：井土 太良、以下「SBI イー・トレード証券」）は、本日開催の取締役会において、同社の韓国における子会社で韓国 KOSDAQ 市場に上場している E*Trade Korea Co.,Ltd.（本社：韓国ソウル特別市、代表取締役：梁壮源、以下「E*Trade Korea」）の株式を譲渡することを決議いたしましたので、お知らせいたします。なお、本件は大韓民国 金融監督院の承認を受けることが条件となり、譲渡の日程等につきましては承認後に決定することとなります。

記

1. 子会社の概要

- (1) 商号 : SBI イー・トレード証券株式会社
- (2) 本店所在地 : 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号
- (3) 代表者 : 代表取締役執行役員社長 井土 太良

2. 異動の理由

SBI イー・トレード証券は、平成 17 年 3 月に E*TRADE Korea を子会社化して以来、平成 17 年 5 月には韓国株のリアルタイム取引サービスを開始したほか、同年 7 月には E*TRADE Korea が日本株取引サービスを開始するなど、日韓クロスボーダーのサービス提供を行うことで他社との差別化を図るとともに、E*TRADE Korea の企業価値向上を目指してまいりました。同社は、韓国株式市場の好況の追い風も受けて順調に顧客基盤、業績を拡大し、平成 19 年 2 月には韓国 KOSDAQ 市場へ株式上場を果たしました。

しかしながら、同社の証券総合口座数は増加しているものの、委託売買代金ベースでは、韓国内での市場シェアは約 2%と業界 10 位前後(共に E*TRADE Korea 調べ)に留まるなど、競合他社との差を埋めるに至っておりません。韓国では以前より個人投資家にインターネットによる株式取引が浸透しており、大手証券の多くもインターネット取引サービス

に積極的に取り組んでいるほか、昨年には、金融市場に対する法規制の見直しが行われており、今後更なる新規参入が見込まれるなど、競争はますます激化していくことが予想されております。

また、SBI イー・トレード証券は本年7月1日付で E*TRADE FINANCIAL Corporation（本社：米国）との商標使用に関するライセンス契約を終了し、同日付で「株式会社 SBI 証券」へ商号変更する予定であり※、同契約下では許されていなかった海外への進出が可能となります。今後 SBI イー・トレード証券が事業及び収益を拡大していくためには、中国をはじめとするアジア諸国及びその他のマーケットに事業を拡大していくことが重要であると考えており、あらためて経営資源の配分について見直しを行う必要があると考えております。

※平成 20 年 6 月下旬開催予定の SBI イー・トレード証券定時株主総会で決議されることが前提となります。

このような状況下、SBI イー・トレード証券は、競争が激化する韓国金融市場において、子会社として E*TRADE Korea に更なる経営資源を投入し事業拡大を目指すよりも、現時点で韓国 KOSDAQ 市場で高い評価を受けている同社株式を譲渡し、それにより回収する投資利益を効率的に利用していくことが、今後の経営戦略上も最善であると判断いたしました。

また、今回、SBI イー・トレード証券が株式を譲渡する LS Networks Corporation Limited（本社：韓国慶尚南道金海市、代表者：李大薫、以下「LS Networks」）は韓国内で新たに証券事業への参入を検討しております。同社が、E*TRADE Korea を基盤に積極的な事業拡大を目指すことは、E*TRADE Korea の既存のお客様にとっても大きなメリットとなると考えられることから、SBI イー・トレード証券は LS Networks に株式を譲渡することが、最良の選択であると判断いたしました。

なお、SBI イー・トレード証券と E*TRADE Korea が現在行っておりますクロスボーダー取引業務においては引き続き提携関係を継続してまいります。

3. 異動する孫会社の概要（平成 20 年 3 月 31 日現在）

- | | |
|-------------|--------------------------|
| (1) 商号 | : E*Trade Korea Co.,Ltd. |
| (2) 本店所在地 | : 韓国ソウル特別市永登浦区汝矣島洞 28-2 |
| (3) 代表者 | : 梁壮源 |
| (4) 設立年月日 | : 平成 11 年 12 月 15 日 |
| (5) 事業内容 | : 韓国におけるインターネットを通じた総合証券業 |
| (6) 資本金 | : 682.8 億韓国ウォン |
| (7) 発行済株式総数 | : 13,656,000 株 |
| (8) 決算期 | : 3 月期 |
| (9) 従業員数 | : 119 名 |

(10) 経営成績及び財政状態

(百万円)

	平成 18 年 3 月期	平成 19 年 3 月期
営業収益	5,202	5,780
純営業収益	4,977	5,446
営業利益	1,182	1,474
経常利益	1,189	1,482
当期利益	922	1,048
純資産	7,256	10,224
総資産	25,342	32,261
資本金の額	5,941	7,260

※損益計算書項目の韓国ウォンから日本円への換算については、月次決算数値をその月の月中平均レートにより円貨に換算し累計しております。

4. 株式譲渡の概要

- (1) 譲渡先 (予定) : LS Networks Corporation Limited
※譲渡先は LS Networks 及び同社の指定する者が加わる予定です。
- (2) 譲渡株数 : 9,744,000 株 (発行済株式総数に対する割合 71.4%)
- (3) 譲渡金額 : 214,368 百万韓国ウォン (1 株あたり 22,000 韓国ウォン)
- (4) 株式譲渡の前後における所有株式数及び所有割合
- ① 譲渡前の所有株式数 9,744,000 株 (所有割合 71.4%)
- ② 譲渡後の所有株式数 — 株 (所有割合 0%)

5. 譲渡の日程

平成 20 年 4 月 10 日 取締役会決議、法的拘束力のある基本合意書の締結
※今後、株式譲渡契約書の締結ののちに韓国 金融監督院の承認を諮ることとなります。
譲渡の日程等につきましては金融監督院の承認後に決定することとなります。

6. 業績への影響及び今後の見通し

当該株式譲渡に伴い、平成 21 年 3 月期の連結業績において、特別利益として約 139 億円を計上する見込みです。

※1 韓国ウォンを 0.1034 円 (日本円) として換算した参考値 (平成 20 年 4 月 9 日現在の為替レートを適用)。

以上

本プレスリリースに関するお問い合わせ先:

SBI ホールディングス株式会社 コーポレート・コミュニケーション部 03-6229-0126